

文化財を守り育てる計画 を作成しています

文化財保護課 ☎224-6097
☎224-5086

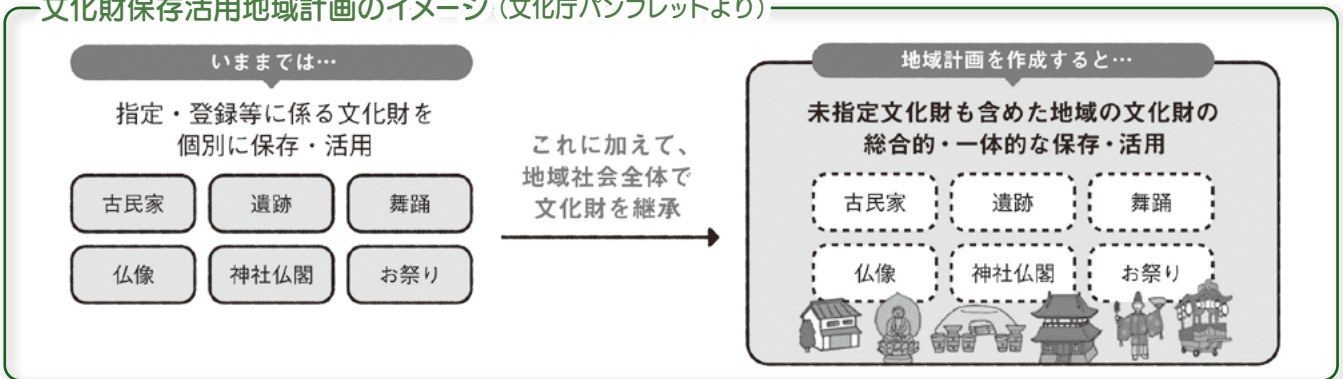
川越市には、265件の国・県・市の指定・登録文化財があります。それは、時の鐘や蔵造りの町家に代表される建造物、川越氷川祭の山車行事の民俗文化財、山王塚古墳や河越館跡のような史跡など多岐にわたります。また、指定はされていないものの、地域で大切に守り伝えられた文化財も多くあります。

文化財というと、国・県・市の指定された文化財だけだと思われがちです。しかし、指定・未指定にかかわらず、人の文化によって生み出され、多くの人が大事に思うものも文化財に含まれます。

このような文化財の保存と活用の今後を考えるために、**川越市文化財保存活用地域計画**(以下、地域計画)の作成を進めています。この計画は、「地域総がかり」の言葉で示されるように、文化財の所有者だけではなく、住民を含む地域社会の全体で文化財の保存と活用を支え、今後のまちづくりに生かすことがねらいです。



文化財保存活用地域計画のイメージ (文化庁パンフレットより)



計画ができるまで1 ～協議会の発足～

本市では、この地域計画を作成するために、令和3年度から川越市文化財保存活用地域計画策定協議会を立ち上げ、これまで4回の会議を重ねてきました。この協議会は、学識経験者をはじめとして、文化財所有者・観光団体などの合計12人の委員で構成されています。

計画を作成するにあたり、川越市にあるさまざまな文化財をもとにして、川越市にはどのような歴史的固有性があるのか、そこから検討を始めました。



計画ができるまで2 ～さまざまな調査～

地域計画の協議会と並行して、文化庁の補助金を活用し、文化財調査を行いました。これは、地域計画の実施を見据えて、どのような調査を地域の皆さんとできるのか、実験的な調査となります。

一つは、昭和30年に川越市と合併した芳野村をはじめとする9か村の旧村のうち、現在の名細地区に当たる名細村の行政文書の整理を行いました。もう一つは、地蔵など石造物の調査です。今から約50年前に出版された『川越の石佛』を元に、名細地区の石造物の調査を行ったところ、『川越の石佛』に掲載された数を大きく超え、未調査の石造物が多数確認できました。



計画ができるまで3 ～地域を学ぶ・歩く講座～

地域計画について、多くの皆さんに知ってもらうための講座を実施しました。昨年度、高階公民館で開催した「発見！たかしの遺産めぐり」講座では、座学やフィールドワークを通して、参加者自身が残したい地域の文化財について話し合いました。また、大東南公民館で開催した「だいたい遺産めぐり」講座では、座学と山王塚古墳などを巡るフィールドワークを行いました。

文化財を守り育てるためには、まずは地域のことを皆さんと行政と一緒に学ぶところから始めることが大切と考えます。川越市でなじみ深い地区を単位に、市民センターや公民館などと一体になって、より地域に根差した活動を目指します。



フィールドワーク(山王塚古墳)

計画の認定を目指して

この地域計画の計画期間は、令和6年度から同15年度の10年計画で、本年12月の文化庁認定を目指しています。この計画に基づき、文化財の調査を地域の皆さんと行う準備を順次開始します。まずはこの文化財保存活用地域計画の存在を知り、今後のシンポジウムやパブリックコメントなどを通して、これからの活動について注視してもらえればと思います。ゆくゆくは文化財を守り育てる輪の中に、多くの皆さんに加わってほしいと考えています。

今後のスケジュール

令和5年	2月	文化財シンポジウム
	6月	パブリックコメント(予定)
	7月	地域計画協議会や文化財保護審議会で協議
	12月	地域計画の認定(予定)
令和6年～同15年	地域計画の実施期間(予定)	

川越市文化財シンポジウム

「文化財の保存と活用から考える 川越の歴史と未来」



講演1
「江戸時代のSDGs
—川越藩領三富新田と
庶民の暮らし—」
作家・梶よう子さん



講演2
「地域の力を歴史にさぐる
—中世の河越を例にして—」
大東文化大学教授・落合義
明さん

- 日時…2月23日(祝)午後2時～4時30分
- 会場…ウェスタ川越 定員…先着200人
- 申し込み…次の2つの方法のうち、どちらか一方で2月6日(月)(必着)まで
- *当初は1月30日まででしたが、申し込み期間を延長しました。
- 市ホームページから電子申請(1回の申請で2人まで)
- 往復ハガキ(1枚のハガキで2人まで)
- 催し名(文化財シンポジウム)・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を、往復ハガキで〒350-8601 川越市役所文化財保護課。

山王塚古墳 国指定史跡へ!!



大東地区にある市指定史跡・山王塚古墳は、7世紀後半の飛鳥時代に造られた日本最大の上円下方墳です。上円下方墳は非常に珍しく、全国でも6基しか確認されていません。昨年12月16日、国の文化審議会は、山王塚古墳を国史跡に指定するよう、文部科学大臣へ答申を出しました。後日行われる官報告示を経て、山王塚古墳は正式に指定されます。国指定史跡になりましたら広報川越でもお知らせします。

